

【取組内容】① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

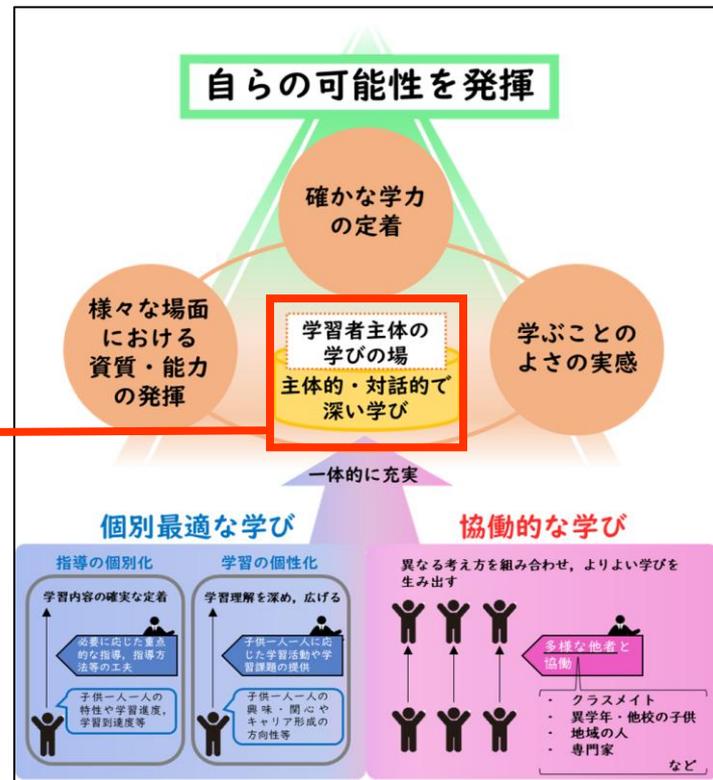
【研究テーマ】

子供一人一人が自らの可能性を発揮する学びの実現  
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

（育成を目指す子供の姿）

- 自らの興味・関心や学習状況等に応じて、自分に合った学習の進め方で、課題解決を行ったり、多様な他者と協働したりしながら、よりよい学びを生み出すことができる子供
- 学ぶことのよさを実感するとともに、学びを通して身に付けた資質・能力を様々な場面で発揮することができる確かな学力を備えた子供

単元・題材等の全てまたは、一部の学習計画を子供が自ら考えたり、子供の学習状況等に応じて教児で学習過程を工夫したりするなど、多様な子供一人一人の興味・関心や学習状況等に応じた学習計画、学習過程になるようにした。また、個別最適な学びが独りよがりの学びに陥ることがないように、目標をより一層子供たちと共有し、学びを評価・調整しながらゴールへと向かう必要があると考え、各教科等と特質に応じて右の三つの工夫を行い、学校全体で取り組んだ。



学習計画や学習過程の工夫

課題設定や課題解決の工夫

学習環境の工夫

- ・ クラスメイト
- ・ 異学年・他校の子供
- ・ 地域の人
- ・ 専門家
- など

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

## 【取組内容】① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

## 【事例①】 社会科



## 自分の追究計画の設定

小単元の導入において、子供一人一人が個別に追究計画（問い）を立て、追究活動を複線化する取組を行うことで、問題解決に向けて目的意識をもち、より主体的に追究・解決することができるようにした。

## 【事例②】 体育科



## 振り返りシートの活用

設定したパフォーマンス課題の達成状況や、端末に記録した子供の運動や健康・安全に関わる生活の様子を、子供の振り返りシートと関連付けながら見取り・評価を行うことで、子供の実態を適切に把握し、次の単元等へ生かすことができるようにした。

## 【事例③】 特別の教科道徳

「学習形態・スタイル」の  
自己選択・自己決定

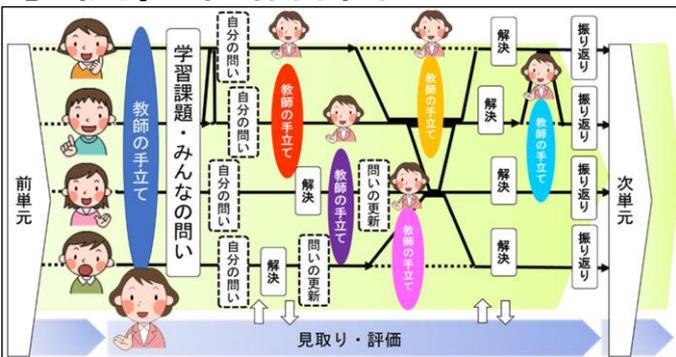
道徳的価値に迫るために、自分自身が解決すべき問いについて、1人でじっくり考えたり、ペア・グループを作り、友達と対話したり教師と対話したりするなど「学習形態・スタイル」を自己選択・自己決定しながら、子供が自らの学習状況等に応じて学び方を選び、自分の考えを深め、広げるようにした。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】①② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と情報活用能力の育成

事例) 国語科



文書作成アプリを用いた共同編集の様子



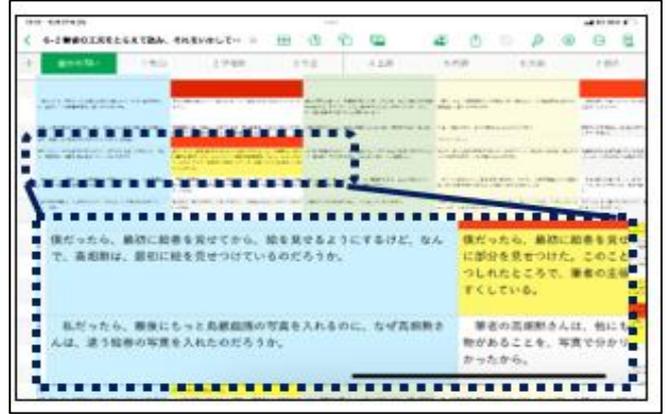
「弾力的な学習過程」  
「自分の問い」と解決



対話をしやすい場の工夫  
一人で考える時間と協働



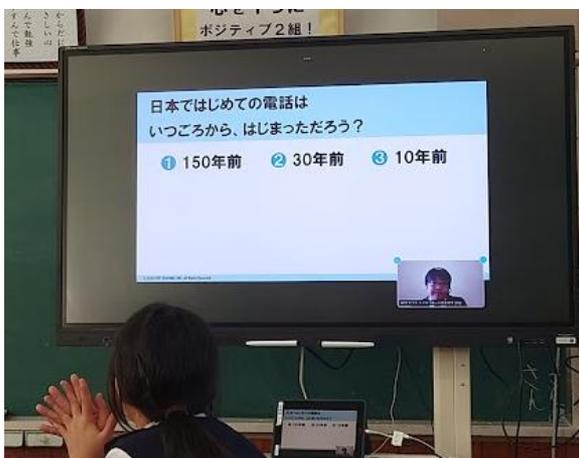
表計算アプリを用いて  
問いを立て、解決する様子



学習履歴のクラウド保存を積極的に行い、文書作成アプリ等の活用場面を設けることなどすることで、子供の学習状況等に応じて自らの学びを振り返ったり、学びの道筋を残したりしながら、問いの解決に向けて、他者と協働しながら主体的に問いの解決を図ることができるようにした。

【取組内容】 ③ 地域人材や外部専門家の参画を得たオンライン授業

事例) 4年生 スマホ・ネット安全教室



オンラインで、外部専門家と連携を図り、情報端末の適切な利用について講義とワークショップを併用した情報モラルに関する学習を行った。その際、教育課程に記載されている情報活用の実践力と関連付けることができるように、専門家と事前に打ち合わせを行った。

中学年	先生と一緒に、もしくは自分で調べたいことを1人1台端末等(ソフトウェアの活用含む)を用いて調べ、課題解決のための情報を得ることができる。	文字入力(ローマ字入力など)などを用いて文字を書いたり、簡単な図や表で自分の思いを表現したりすることができる。	簡単なプレゼンテーションを作ったり説明することができる。	8	ローマ字入力等を用いて、簡単な文章を作成できる。			◎	
				9	簡単なシンキングツールを用いて、意見を分類・整理することができる。			◎	◎
				10	表作成アプリ(スプレッドシートなど)やアンケート機能を用いて、必要なデータを集めたり、データを入力し集計したりすることができる。			◎	◎
				11	自分の調べたい内容について検索エンジンにキーワードを入力し、必要な情報が集まるサイトに移動することができる。			◎	◎
				12	簡単な文字や画像が入ったプレゼンテーションをつくることができる。			◎	◎
				13	自分の方でオンライン会議システムに参加することができる(必要に応じてビデオ、音声のオン・オフの切り替えができる)。			◎	◎
				14	著作権や肖像権の意味や役割について知り、ルールやマナーを守って活用することができる。			◎	◎

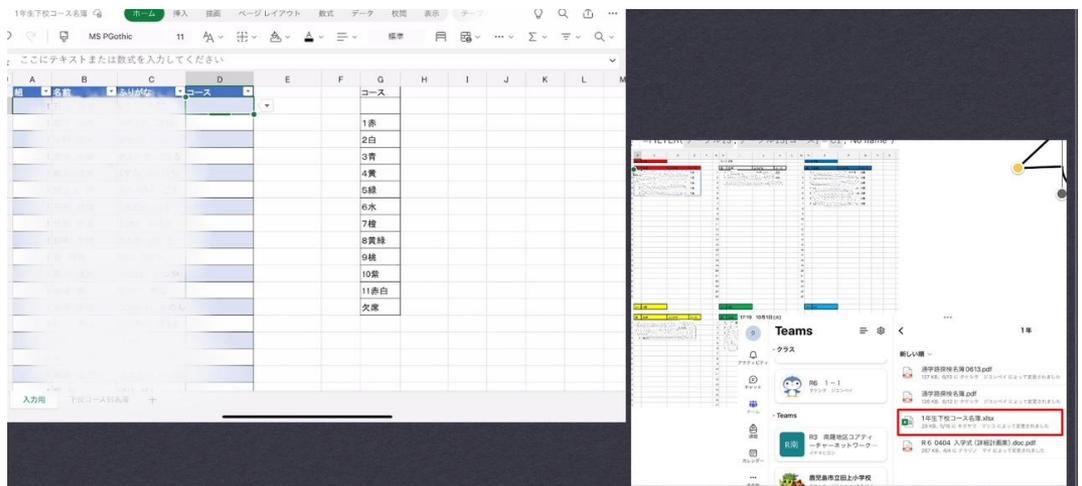
外部専門家による学習を行うことで、情報モラルに関心をもって、主体的に学習に臨む子供の姿が見られた。学習後は、各教科等においてもルールやマナーを意識して、端末活用をする子供の姿が見られた。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

## 【取組内容】④ クラウドや共同編集機能を活用した校務の効率化

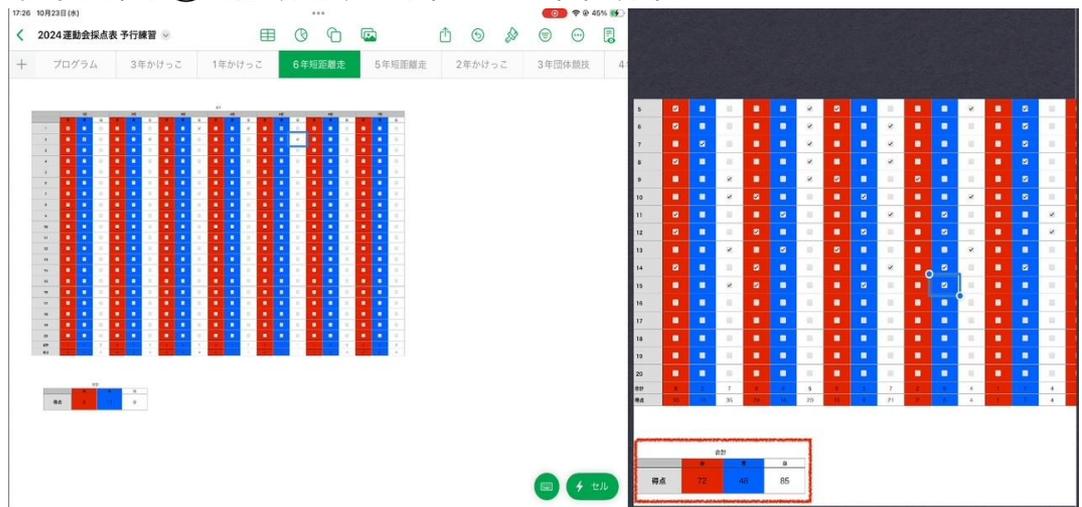
### 実践例①共同編集での下校名簿作成



クラウド上に保存した表計算ソフトを用いて、共同編集での下校名簿作成を行った。

これまで、各クラス手書きで修正したものを1枚にまとめていたため、取りまとめの手間が掛かっていたが、クラウド上で共同編集することで、下校先の変更が容易になり、変更が即時に反映され、周知が簡単になった。

### 実践例②運動会の採点の自動化

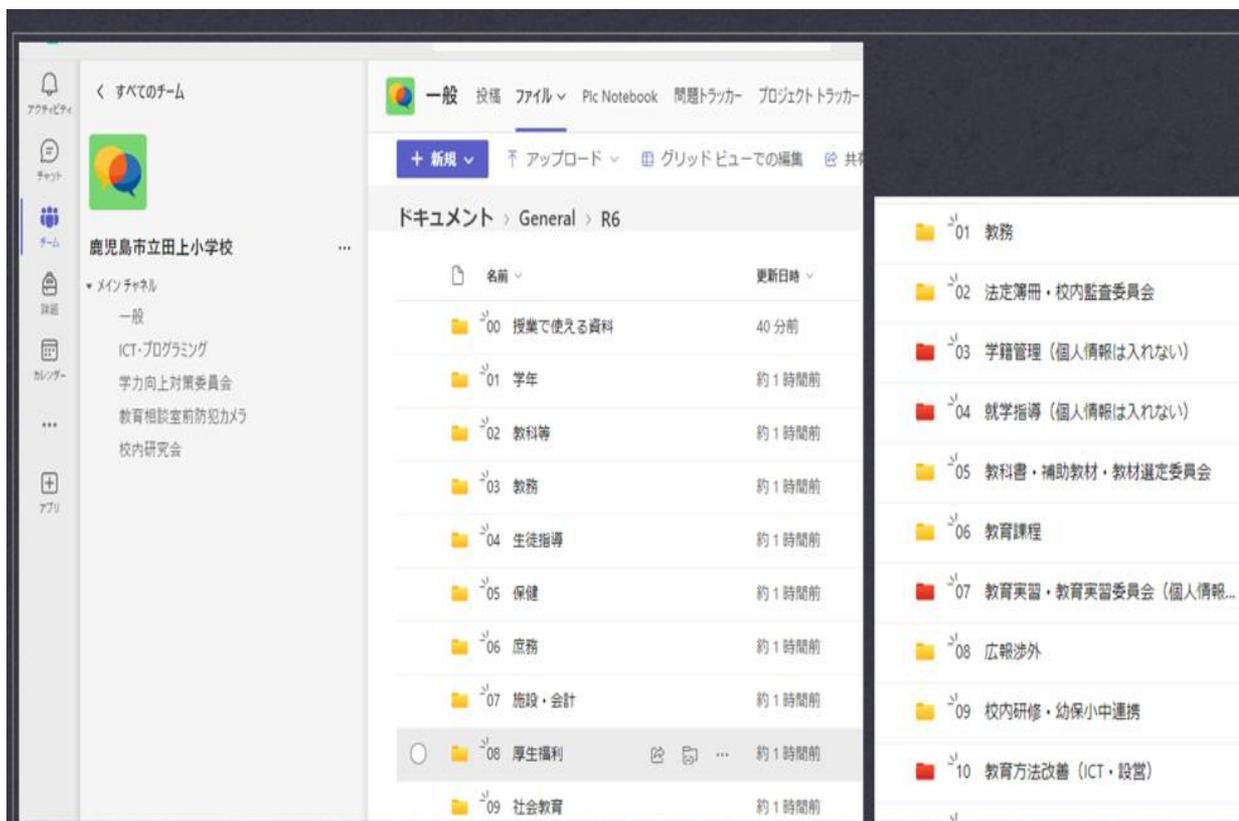


クラウド上に保存した表計算ソフトを用いて、採点の集計を行った。

これまで、手書きで記録を取り、手計算で集計を行っていたが、左のようなテンプレートを作成した。種目ごとにシートを分け、必要項目をチェックして加算されるように設定をしたことで、入力の簡略化や集計ミスを防ぐことにつながった。

## 【取組内容】④ クラウドや共同編集機能を活用した校務の効率化

## 実践例③Microsoft Teamsを活用した校内クラウドの整備



Microsoft Teamsのファイル内を校務系ファイルサーバーと構造を同じにすることで、紙資料を携帯すること頻度が減り、学校外の環境においても資料をすぐに確認することができた。また、校務支援システムの投稿内容を同サービス内にも反映させることで、校内のどの教員とも、県域アカウントを介して情報を共有することが容易になった。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）【指定校】

## 【取組内容】④ クラウドや共同編集機能を活用した校務の効率化

## 実践例④デジタルホワイトボードを活用した校内研究の資料共有・授業研究



Microsoft Teamsを用いて、デジタルホワイトボードの共有リンクにアクセスすることで、資料をデジタル化し、これまで紙媒体の資料を印刷していた時間や経費を大幅に削減することや、資料の持ち運びの負担軽減を行うことができた。



また、授業研究や研究構想について検討する際も、共同編集機能を活用することで、情報の共有や編集・資料の引き出しが容易になり、校内研究や職員同士の対話の時間を、これまでより確保することができるようになった。